



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



ヤキイミ味の見島観察会 (撮影：橋本泰博さん)

野鳥さが211号 主な内容

- 役員会報告2ページ
- 各地の観察会報告3ページ
- 支部からのお知らせ8ページ
- 皆さんからのおたより10ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報17ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から18ページ
- 近隣地区の観察会情報19ページ
- 観察会などのお知らせ (2017年6月~7月)20ページ



役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】2017年4月23日、5月14日

【出席者】(4/23) 宮原明幸、青柳良子、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、江口富美子、中原正義、中村さやか、蒲原留美、島田洋 (5/14) 宮原明幸、青柳良子、馬場清、加藤芳隆、江口富美子、中村さやか、蒲原留美、坂田紀子、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) 備品購入について

観察会での貸し出し用に双眼鏡 10 台、佐賀県支部の旗幟を 5 本購入。

(2) 役員体制及び観察会のリーダー体制の変更について

6月の支部総会時に、会計監事が交代する予定である。また、観察会のリーダーを2人体制にもっていくよう努める。

(3) ツバメの巣などの展示について

家屋解体などのため壊されそうな巣を引き取る事が有りうる。その際、野鳥の巣にはダニなどが生息していることが多いので、対策が必要。

(4) その他、今後の行事予定などについての協議や支部総会に向けての準備の確認を行った。

中村さやかさんからの情報

- ① 11月7日～11日にアジア湿地シンポジウムが開催。ほとんど英語による発表です。会場は「グランデはがくれ」佐賀駅南口 佐賀市天神 2-1-36
- ② 7月19日にNHK-BSプレミアムでドラマ「潟の国から」が放送予定。舞台は鹿島。
- ③ BSプレミアム自然番組「ワイルドライフ」のため、東与賀海岸で撮影が行われる。



支部総会開催のお知らせ(再掲)

2017年度支部総会を下記日程で開催します。2016年度の成果や反省を踏まえ、今年度の活動方針を決める大切な場です。これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

【日時】6月4日(日) 10:00～ 【場所】佐賀市大和町石井樋公園の「水ものがたり館」

※ 当日は08:00から石井樋公園観察会を行います。観察会終了後、引き続き御参加下さい。また、参加される方は別送の「支部総会議案書」「支部規約」をご持参下さい。





各地の観察会報告



■脊振山観察会報告（神崎市）

【日時】 平成 29 年 4 月 16 日

【参加者】青柳良子、岩永正克、内田英丸、大野幸子、大藤和浩、大藤孝子、蒲原留美、川部静也、古賀郁香、高崎由美、高崎洋三、高山英一、田辺憲子、久富文江、福田康典、山崎祐子、山田茂、山田礼子、山中美由紀、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】アオバト、トビ、オオタカ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ミソサザイ、キビタキ、オオルリ、キセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ソウシチョウ

【案内役より】

木々も芽吹き出し、山歩きの気持ちいい時期となり、参加者も 20 人と多かったのですが、鳥の出はいまひとつです。ソウシチョウばかり多く、既存の鳥たちの密度は低い！ 季節が早いせいだといいいのですが？

■石井樋観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 4 月 23 日

【参加者】川原直嗣、宮原明幸、内田英丸、福田康典、山中美由紀、久富文江、蒲原留美、田中義一、原口由起子、宮崎浩二、田中照美、蒲原泰代、高木宏子、高木義彦、島田洋、川部静也、中原正義、加藤芳隆、川上武彦、永島博、高山英一、高山雄太、益田ミドリ、大川幸子、古川恵子、江口富美子、吉澤進、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、バン、オオバン、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

暖かな日差しが気持ちよく、絶好のアウトドア日和になりました。

水ものがたり館主催の探鳥会でしたので、荒巻館長・宮原支部長の挨拶のあと、外へ出ました。（まだ来ないかなあ・・・）とムクノキを見上げて一応アオバズクの姿を探しましたが まだでした。

冬にはたくさんいたバンやオオバン、カモたちは姿を消し、池や川は静かなものでした。おまけに川では「砂泥がたまって流れが悪くなってしまった」とのことです。 「象の鼻」のあたりで足を止めゆっくり見渡していると、チラチラと姿を見せてくれるもの、上手に囀るようになったウグイスの声など楽しめました。スミシ、ムラサキケマン、カキドオシ、マツバウンランなど可憐な野の花を觀賞しながら、竹林の道を歩き「春」を満喫しました。

もう見かけないかな？ と思われたアオジやアトリなども観られたし、幼鳥と思われるエナガや、巣材をくわえたカイツブリなど、季節の変わり目を感じる探鳥会



でした。

野鳥に因んだ名前の「カラスノエンドウ」「スズメノエンドウ」その中間の「カスマグサ」のお話をしたあと、「ツバメのぬりえ」を楽しみました。

ぬりえの作業中に宮原支部長から「ツバメの渡りについて」のお話もあり、有意義でした。 きっとこの夏はツバメの色が気になることでしょう！

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成 29 年 4 月 29 日

【参加者】中村さやか、中村翠、泊寿彦、松田信義、藤門康弘、山本直彦、山本なおみ、江口勝高、川上武彦、八木ひとみ、柴田一樹、原秀親、矢野浩司、江口征信、内田英丸、東良一、東有子、飯田陳也、川中正隆、小松茂子、石河光子、坂本頼子、落合はるな、田辺義彦、川部静也、永島博、川原直嗣、久富文江、福田康典、津山悦子、西悠斗？、西智子、宮原明幸、大川幸子、脇田雅江、湯川文子、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、アオサギ、ダイサギ、クロツラヘラサギ、ムナグロ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオハシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、キョウジョシギ、オバシギ、コオバシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、キリアイ、ズグロカモメ、セグロカモメ、コアシサシ、ヒバリ、ツバメ、ホオジロ

【案内役（田中丸雅雄）より】

大型連休の初日、堤防の上には関東、関西、中国、九州の各県ナンバーの車が数十台駐車。 天気、潮高も絶好の鳥見日和で、参加者も東京、横浜、神戸、広島、大分、福岡など、県外から 13 名、県内から 25 名、合計 38 名。

本日のテーマは「夏羽になったシギ・チドリを見よう」

赤くなったメダイチドリ、オオソリハシシギ、オグロシギ、コオバシギ、オオハシシギ、トウネン。 腹が黒くなったハマシギ、ダイゼン、ムナグロ。 全身真っ黒になったツルシギを楽しむ。 1 万羽を超えるシギ・チドリに遠来の人々も感激の様子でした。

②【日時】 平成 29 年 5 月 14 日

【参加者】蒲原留美、川上武彦、河瀬宏則、川部静也、島田洋、城島英之、杉本マサ子、外園智史、高木宏子、高木義彦、田辺憲子、田原敬俊、田原真由子、長者原恵美子、津山悦子、当麻サエ子、富田宏、中島修、中島由美子、中村さやか、中村翠、広瀬恭子、野上駿、馬場清、原秀親、深村徹、福岡喜美代、松田信義、村岡一敏、村岡立子、山中美由起、吉澤進、加藤芳隆（案内役）、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、オナガガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバ

シギ、キリアイ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ズグロカモメ、コアジサシ、ツバメ、ヒバリ、セッカ、スズメ

【案内役より】

佐賀市主催の干潟一斉清掃とかぶりしました。300人程のボランティアの方々がゴミ袋を手にゴミ拾いされているのを尻目にシギチを観察しました ^^ ; シギチは、渡りの真っ盛り、19種を確認しました。また今回、日本一のシギチの中継地を見ようと訪れた大阪支部の方々や、九州産業大学の学生さんも参加してくれました。



(写真提供：中村さやかさん)

■長崎県 野母崎・樺島観察会報告（長崎市）

【日時】 平成29年5月4日

【参加者】大川幸子、大川尚也、大川裕也、江口富美子、徳淵義美、原秀親、久富文江、中島由美子、馬場清、加藤芳隆（案内役）

【観察された野鳥】キムネヒタキ、チフチャフ、キマユホオジロ、カワラヒワ、トビ、ミサゴ、ツバメ、コシアカツバメ、ホオジロ、スズメ、アオサギ、ツメナガセキレイ、ムクドリ、サンコウチョウ(声)、カワセミ、シジュウカラ、コサメビタキ、ハシボソカラス、イソヒヨドリ（番外：アオダイショウ）

【参加者のコメント】

鳥栖市を6時半に出発、佐賀市、嬉野市を經由して一路、野母崎へ。ベタ凧の海上に浮かぶ軍艦島を遠望し、水仙公園を観て回る。野母・脇岬漁港で目にする鳥（タダ鳥）はスルー、昼食の食堂をチェックして、目的の樺島の珍鳥探しへGO～。出てくれるのを願いつつ！

長崎半島の突端にあり、以前は離島でしたが樺島大橋により定期バスも運行し、特産の“からすみ”や養殖海産物の産地で、磯釣り、船釣りのメッカとして有名で海水浴場、大ウナギの水槽もあります。

珍鳥が出る島と言われ、バーダー仲間では少しは名を魅せられている。

今回はツメナガセキレイ、キマユホオジロが目当てです。

民家の庭木前にはバズーカ砲（大型写真機）が陣取っております。4時間待機は新参者？ 6～7時間待機の方や遠路、練馬、滋賀、和歌山、神戸、広島など県外ナンバー車両がずらりです。総勢20名以上のギャラリーでした。

珍鳥キムネヒタキがちらっと姿を見せた奥の廃校では、コシアカツバメの巣づくりをのぞき見。珍鳥をゲットに皆さん、安堵の声が出ました。

島の先端の灯台公園に上り、東シナ海を一望出来て最高の探鳥日和でした。

シジュウカラの行水、ミサゴの巣材運び等を観察出来ました。



(写真提供：加藤芳隆さん)



長崎チャンポン、皿うどんて腹ごしらえして、再び探鳥の穴場へ。
サンコウチョウの声を耳にしたが鳥姿は見えす。
翌5日からは2泊3日の見島探鳥紀行です。早めに切上げて帰路につきました。
案内役&運転手の加藤さんに大変お世話になり、お疲れ様でした。
ありがとうございました。（コメント：馬場 清さん）

■山口県 見島観察会報告（山口県萩市）

【日時】 平成29年5月5日～7日

【参加者】橋本泰博、加藤芳隆、徳淵義美、原秀親、田中照美、鈴木紀久子、中村彰夫、角紀男、川畑康二、川畑真砂子、脇田雅江、馬場清、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】キガシラセキレイ、キマユツメナガセキレイ、マミジロツメナガセキレイ、シベリアセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、台湾ンハクセキレイ、ホオジロハクセキレイ、セグロセキレイ、エゾビタキ、キビタキ、コサメビタキ、ムギマキ、センダイムシクイ、エゾムシクイ、キマユムシクイ、オオルリ、イソヒヨドリ、ムクドリ、コムクドリ、ツグミ、シロハラ、ツツドリ、ノジコ、メジロ、セッカ、オオヨシキリ、シベリアアオジ、チョウセンウグイス、ビンズイ、カワセミ、サンショウクイ、オオバン、チュウジシギ、キアシシギ、イソシギ、タカブシギ、ムナグロ、アマサギ、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、クロサギ、アオサギ、ツバメ、アマツバメ、トビ、ミサゴ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、ハイタカ、サシバ、ウミウ、スズメ、カワラヒワ、ジュウイチ（声）、カルガモ、オオミズナギドリ、セグロカモメ、ウミネコ、ハシボソカラス、ハシブトカラス

※支部報表紙の写真は左上から時計回りにキガシラセキレイ・ホオジロハクセキレイ・マミジロツメナガセキレイ・台湾ンハクセキレイです。）

※コメントは長文のため「皆さんからのお便り」のページに掲載しています。

キガシラセキレイ（写真提供：加藤芳隆さん →）



■第1回 虹の松原観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成29年5月7日

【参加者】《日本野鳥の会》豊岡三郎、青柳隆、青柳良子、中島修、中島由美子、大藤和浩、大藤孝子、福田康典、宮崎末徳、田中丸雅雄、川原直嗣、久富文江、高木義彦、高木宏子、川部静也、古賀郁香、原口由紀子、江口富美子

《NPO側の参加者》17名 《案内役》佐久間仁

【観察された野鳥】トビ、コゲラ、ツバメ、ヒヨドリ、セッカ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、ハシボソカラス

【案内役より】

今回初めて「NPO法人 唐津環境防災推進機構 KANNE」主催事業への協力企画になりました。NPO側はバードウォッチング初心者の方が大半で、参加者が飽

きない程度に短時間で終わる必要があったり、エナガやヤマガラなど、県支部の皆さんからすれば一般的な鳥でも大騒ぎになったように、レベルにかなり差があり、「支部報掲載の場合は『初心者向けのBWです。』と明記すべきだった」と反省。なお、今後も年三回程度、松原内で場所を変えながら、県支部の協力を得て野鳥観察会が企画される計画ですので、初心者レベルの観察会ですが、よろしければ気軽にご参加ください。 因みに、今回歩いたコースは、3月下旬までルリビタキが出現する場所です。

県外探鳥ツアーのご案内

梅雨と暑さを吹っ飛ばせ！

①鳥取県「八東ふる里の森」バードウォッチング

【日 時】 6月10日(土)～11日(日)

【探鳥地】 鳥取県八頭町「八東ふる里の森」

【見どころ】 扇ノ山の中腹標高約700mにあるブナ林の森です。 林内には自然観察と森林浴を楽しめる遊歩道が整備されています。(鳥取県支部の探鳥地案内より) 昨年巣立って見られなかったオオコノハズクを見に行きます。

管理されたキャンプ場でバンガローへ泊ります。 アカショウビンやコノハズクなども見られますよ。 出発は、朝7:00を予定しています。

費用は1万円前後、集合時間、場所など詳しくは加藤さんに問い合わせてください。

【申し込み先】 加藤 芳隆さん(上峰町・携帯:090-4510-1560)まで。



②長崎県「雲仙あざみ谷」バードウォッチング

【日 時】 7月23日(日)午前6時～夕方

【探鳥地】 雲仙市、雲仙あざみ谷

【見どころ】 雲仙妙見岳直下の涼しい「雲仙あざみ谷」の水場で、水浴びにやってくる鳥たちを観察します。普段見ることのできない鳥の水浴び。 感激の1日になることでしょう。 例年、キビタキ・オオルリ・クロツグミなども観察されています。 20分ほどアップダウンのある登山道を歩き、水場に腰を据えて、昼過ぎまでじっくり観察します。 現地の都合で、参加者は10名までとします。 集合時間、費用など詳しくは橋本さんに問い合わせてください。

【集合場所】 佐賀市大和町の石井樋「水ものがたり館」駐車場に集合、数台に分乗。

【申し込み先】 橋本 泰博さん(みやき町・携帯:090-8833-6130)まで。

※ いずれも詳細はそれぞれの担当者に直接問い合わせてください。





支部からのお知らせ

1. 物資販売係からのお知らせ 《在庫一掃セール！》

在庫整理のため半額以下にて販売いたします。

気になっていた商品、欲しかった書籍などありましたら

この機会にお買い求めください。6月4日（日）総会会場にて販売いたします。



品名	在庫数	定価	販売価格
●書籍			
日本の探鳥地 西日本編	1冊	1980円	→ 500円
日本の探鳥地 東日本編	1冊	1980円	→ 500円
鳥名の由来辞典	1冊	3990円	→ 1600円
夏鳥たちの歌は今	1冊	1600円	→ 500円
有明海の生きものたち	5冊	4200円	→ 2500円
改新・日本の絶滅のおそれのある野生生物・鳥類	2冊	3570円	→ 1780円
Strix VOL.26	1冊	4752円	→ 2300円
哺乳類観察ブック	2冊	1890円	→ 900円
デジスコで野鳥撮影が楽しめる本	1冊	1680円	→ 800円
ワシタカ類飛翔ハンドブック	1冊	1890円	→ 900円
鳥 630 図鑑	1冊	3980円	→ 500円
声が聞こえる野鳥図鑑	2冊	1680円	→ 500円
見る読むわかる野鳥図鑑	1冊	864円	→ 430円
葉っぱで見わけ樹木図鑑	1冊	1404円	→ 700円
VIDEO バードウォッチング入門 BIRDING I	2巻	3150円	→ 500円
VIDEO 野鳥を庭に（身近な鳥たちシリーズⅡ）	13巻	2900円	→ 500円
BIRD さわる図鑑（カセットテープ付）	2冊	1900円	→ 500円
●雑貨			
蒔絵風野鳥シール 鶴	1個	1000円	→ 450円
蒔絵風野鳥シール 藤と雉	1個	1000円	→ 450円
一筆せん「ぼく鳥なんだ」	1冊	630円	→ 200円
野鳥シール 2種入り	1個	600円	→ 200円
有田焼 翡翠柄急須	1個	5460円	→ 1300円
野鳥ファイル（B5）	1冊	714円	→ 350円
鳥の手拭い ツバメの親子	1枚	1260円	→ 500円
シンボルマークバッジ	12個	200円	→ 100円
マスコットストラップ つばめ	2個	1680円	→ 800円
ソールラック（長靴中敷女性 S~M用）	1個	1620円	→ 800円

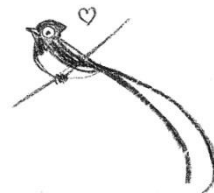


バードウォッチング野帳	3冊	486円	→	240円
フィールドノートセットⅡ	1冊	864円	→	430円
アウトドアグローブ(カーキ&迷彩2色セット) M	1個	1296円	→	640円

●**双眼鏡**

ペンタックス双眼鏡 タンクロー8*21	1個	6930円	→	3400円
---------------------	----	-------	---	-------

2. 「黒髪山を守る会」 観察会 (情報提供：馬場清さん)



友好団体の「黒髪山を守る会」主催の自然観察会が下記の通り開催されます。初心者や子ども達でも安全な野鳥と自然の観察会です。

《黒髪の野鳥とクロカミランの観賞》

梅雨入り、黒髪山系は最も美しい季節となります。岩峰や溪谷にはクロカミランやクロカミシライトソウなど絶滅危惧種の美しい花が咲き、多くの野鳥やカジカガエルの美声が響きわたり、全ての生き物たちの賑やかな繁殖期を迎えました。

野鳥の楽園・黒髪山はサンコウチョウやアカショウビンなど多くの希少種が飛来します。

【日 時】6月10日(土) 6:00~10:00 (小雨決行)

【集合場所】有田町広瀬山甲 「龍門山の家」0955-46-5613

【持参品】雨具、虫よけ薬品、長そで、長ズボン、長靴、あれば双眼鏡

2. 県内の自然をテーマにしたテレビ放送案内 (情報提供：中村さやかさん)

4月~5月にかけて、佐賀県の自然をテーマにしたロケがたくさんあり、7月から8月にかけて放送予定です。(東よか干潟、肥前鹿島干潟でも撮影が行われました)

●NHK 地域ドラマ「ガタの国から」

「ガタ」・「美肌」・「タイ」をキーワードにした「豪華キャスト」で行われたNHK 地域ドラマ「ガタの国から」は、鹿島市と嬉野市を舞台にロケ撮影を無事に終了しました。ドラマでは「干潟展望館」や「道の駅鹿島」、「棚ジブ」や「ガタリンピック」といった、「鹿島の干潟(ガタ)」関係が数多く登場し、実はシギ・チドリの渡りも重要なテーマとなっています。

【放送】7月19日(水) 22:00~ NHKBSプレミアムで全国放送!

●NHK 自然番組「さわやか自然百景」、「ワイルドライフ」も撮影中!

「さわやか自然百景」は肥前鹿島干潟、東よか干潟の渡り鳥や、泥干潟のムツゴロウやヤマノカミ、そしてNHK 自然番組では初登場の「ヤベガワモチ」といった有明海の特産種達が登場します。

「ワイルドライフ」は4Kのテレビカメラでの撮影となっており、素晴らしい映像です。

【放送】「さわやか自然百景」NHK 総合TVで7月放送予定(全国放送)

「ワイルドライフ」 NHKBSプレミアムで8月放送予定



皆さんからのおたより



●山澤 健一さん（茨城県神栖市）

①「普通動物図譜の鳥たち 第2回」

今回紹介する野鳥は今の季節に夏鳥として渡ってくるカッコウ類のカッコウ、ツツドリ、ホトトギスと、この時期冠羽が特徴のコサギです。

カッコウは旧仮名づかいで「くわくこう」と表記されています。解説の頁ではカッコウ類の特徴である托卵についてはホトトギスのみ記してあり、托卵の相手については記してありません。



くわくこう※・つつどり
(※図譜の表記のまま)



ほととぎす



こさぎ

②「この時期の鳥たち」

夏鳥たちの渡りが始まる4月から5月初旬にかけて、利根川を挟んで隣町である千葉県銚子市の君ヶ浜防潮林には渡りの中継地としての役割があり、普段当地では（夏鳥としては）見られない何種類かの夏鳥が入ります。4/3のトラツグミは漂鳥ですが、4/12 オオルリ、4/20 コマドリ、4/21 キビタキ、4/23 サンショウクイ、4/30 ツツドリ、5/4 コムクドリ・コサメビタキなどが観察できました。

昨年と比べ10日ほど早く出現し、5/6には抜けてしまいました。（5/10のメール）

（5/12 追記のメール）春の渡りはもう終わったと思いましたが、5/11にはカッコウが入り1日で抜けました。現在残っているのはコムクドリだけです。



コマドリ



ツツドリ



●「台湾探鳥行 その2」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【日時】平成29年3月9日～13日

【探鳥地】台湾

【参加者】田中照美、中島由美子、橋本泰博、八木ひとみ、宮原明幸

3月12日

5時半、ヤマムスメを求め電力会社の敷地へ・・・駄目です(T_T)・・・今日は、朝食後台北へ移動の予定で長居は出来ません。

宿へ戻りバスを降りたら「タイワンオナガ」のお出迎え。何気なく振り向くと尾の長い鳥が優雅に断崖の前を飛んで行きます『「ヤマムスメ」っ!!』宿の駐車場で出会うとは(♪)4～5羽群れています。

対岸の松に止まるのを確認して、私と中島さんは望遠鏡、橋本さんはカメラを取りに走ります！ 焦りまくってなんとかゲット♪ 呉さんも並んで望遠鏡の順番待ちをされていました～???

チェックアウト後、マイクロバスは御機嫌な(^▽^)皆を乗せて台北へ♪

『呉さん、オオチュウが居たらバス停めて。』街中の電線はオオチュウか？ ヒメオオチュウか？ 確認する必要があります。マイクロバスは給油のため最寄りのスタンドへ。

『道向いの建物裏辺りにオオチュウが見えた!』と橋本さん、カメラを持って向かわれ後を追います。

※台湾は左ハンドル、走って来る車の方向も逆！ 慣れないから横断も危険！ (><; 幹線より小さな道へ、台湾道教のお宮？でしょうか。その先には畑と果樹園。

『電線は？ ベニバトとオウチュウ。オウチュウはタダです!』『電線はキジバト?』『違います「カノコバト」です!』(♪) 『今、飛んで来たのは?』『シロガシラです。』『クロヒヨだ。』なげやりです(笑)・・・『シロガシラ』『先の、木は?』『シロガシラ』『クロヒヨ』中島さん『違います!「カヤノボリ」です。』(♪)

アカモズも出ます。何気に立ち寄った場所がこれです(^^♪

途中お祭りでしょうか、ブラスバンドの行進に人だかり、派手に飾った車。

『あれは、台湾のお葬式』と呉さん。 出棺でした・・・所変われば、文化も違いますネ。



ヤマムスメ



カノコバト



カヤノボリ

台北到着。お昼はホテルで広東料理(やはり都市部の料理は洗練されていて美味しい♪) 若干名はビールで乾杯、ホテルのビールはホップが効いて美味しいそうです?

台北植物園へ。ネットの情報では市街地の公園でもいろんな鳥が観られると出ていましたので、計画に入れています。

※ 日本の台湾統治時の創建された初めての植物園です。

（日本語版のパンフレットの勘ニングです。観光地は誰も調べてないし興味はありません）。

出迎えは「台湾リス」 蓮池には「バン」横の藪には「ズグロミソゴイ」がジッと隠れています。

望遠鏡を合わせます。『ズ・グ・ロ・ミ・ソ・ゴ・イ？』呉さん、知らないんだ！（>_<）赤いブラシの花蜜ヘメジロが来ています。

『カエルの声はゴシキドリ』と呉さん。 花びらを啄ばんでいます。

カメラマンが何人も小さな池でレンズを構えていました・・・モデルさんは？水浴びに来た「シロガシラ」 今日の日曜日、鳥も多いが、人も多い！

藪の中を鳥影が動きます。3羽？4羽？5羽？「ヒメマルハシ」です。老夫婦が腰掛けているベンチの裏へ飛び込み動き回ります。警戒なんて全然していません？ 夢中で観察する私達を警戒して老夫婦が立たれました（笑）『シエシエ』

垣根の下に「シロハラ」 小さく見えて同定を誤ります（はははっ）

上を見上げれば青い鳥。 美声でしきりに歌っています。 オオルリともコルリとも違います。 《台湾山野の鳥図鑑》にも掲載がありません。ちょうど通り掛かりのバーダー？らしき方に聞いてもらいます。呉さんへ即座に台湾名を告げられますが・・・

翻訳は無理！（T_T） 後で調べることに。



ズグロミソゴイ



シロガシラ



ヒメマルハシ

植物園内、人が多過ぎ！ 台北市動物園へ向かいます。（動物園も森が有り、野鳥の多く出るスポットとか）立派な動物園です。面々に60元（約250円）の入園料を払い入場・・・カメラや望遠鏡を担いだ異様な外国人が闊歩します。（^へ^）

ここも人、人、人、人気の無さそうな蛙・昆虫園へ廻ります。溪流風に設えてあり、鳥が囀っています。直ぐ目の前ですが見つけることが出来ません。

『福岡動物園では鳥の飼育場周辺に野鳥が集まるから』と中島さん。 動物園奥の鳥園へ人並みを縫って進みます 「アマサギ」が売店付近で、スナックのおこぼれを狙って群れています（飼育しては無いみただから野鳥？です） 後は「スズメ」と「ハクセキレイ」。鳥は、諦め鳥ゲージへ・・・ショウジョウトキ、アメリカオシドリ、ハッカチョウ、ソデグロバト、クジャク、キンバト等々・・・カウントは駄目ですよネ（X_X）

夜も広東料理、美味しいビールでヤمامスメに乾杯！

最終日

予定では午前中「忠烈祠」で「衛兵交代式」を見て後は免税店に行くとか・・・『そんなの要らないから森林公園に連れて行って。午後からは呉さんにお任せで良いから』と昨晚申し入れしています。

外は雨。朝食を済ませ待っていたら、呉さんがタクシーを呼び300元を渡されます。きっとバスの運転手と、折り合いが付かなかったのでしょうか？ 私が、お願い事をする度に運転手さんに交渉されますが・・・いつも喧嘩腰（台湾語の話し方が、そうなのか喧嘩なのか定かでは有りませんが？）

台安森林公園に着いた時には、雨は上がっていました。

※ 今回、台湾の長期予報は曇りか雨で決して好くはなかったのですが・・・晴れ男の橋本さん&晴れ女の八木さん、雨男の宮原さんを凌いだ模様（^_^；

公園入口でいきなり「クビウムクドリ」番い。

ムクドリらしからぬ“甲高く美しい囀り”ですが、目の回りの裸出部が黄色く異様な鳥相、カエル声の「タイワンゴシキドリ」、植物園で歌っていた“不明の鳥”『「シキチョウ」

ネットで調べました♪』と八木さん。

園内に池が有るようで「ゴイサギ」がやたら飛び交います。

「クロヒヨ」はあたりまえ、「カノコバト」も歩いています。

「ズグロミソゴイ」目もくれません。

小さな藪でウグイスの囀り。日本で聞く歌とは少し違う。

目の前の藪からですが？

えっ！ 手の届く程近くの植え込みで声を上げていました。

しかも2羽。指向性の無い声とはいえ、このような近くに？

「コウグイス」でした。

森林公園と言っても決して鬱蒼とした森ではなく整備された明るい林です。散歩をする人・太極拳をするグループ・体操をしてる人・ベンチで憩う人と、普通の街中の公園です。

でも、鳥は普通でない！「カバイロハッカ」に「ジャワハッカ」、

「アトリ」の群れ、「ズアカアオバト」（先島諸島で見るズアカアオバトの頭は、決して赤くないのですが此处のみは、ちゃんと赤い！） あっという間に時間が過ぎます。

呉さんへは、台湾の鳥図鑑が欲しいから本屋へ立ち寄り欲しい旨、伝えていました。

最終日になって実現、本屋さんではなく台湾野鳥の会（台北市野鳥学会）の事務所でした。

6～7名のスタッフが会報？の発送準備やパソコンに貼りついて作業中です。言葉は通じませんので図鑑やら野鳥グッズを購入して失礼します。

呉さんのバードウォッチングガイドらしい仕事はこれくらいだったかな（^^！

でも、憎めない方でした。（笑）

お昼を行列の出来る飲茶屋さんで済ませ、土産物屋へ立ち寄り台北空港へ。

帰国後、購入した図鑑で同定のやり直し。カンムリワシと一緒に出たタカは「カンムリオオタカ」 空港への帰り、田圃にいたトキは「アフリカクロトキ」でした。



クビウムクドリ



シキチョウ



初日、カワビタキの河原を飛んだイワツバメ、少し小さく習性も違ったようですが？
分かりませんでした。 4日間、朝から晩までよく遊びました (^▽^) ザイチェン

(※写真はすべて橋本泰博さん提供)

●参加者の八木ひとみさんが今回の台湾探鳥ツアーの写真集を公開されています。

デジブック『台湾探鳥 1』

<http://www.digibook.net/d/c01585d3b10f94b133dd8870788417da/?m>

デジブック『台湾探鳥 2』

<http://www.digibook.net/d/6ad5cb9fb149bef8ab5b8af20c8517d8/?m>

●「山口県・見島野鳥観察会」・・・馬場 清さん（嬉野市）

(5月5日～7日)初めての見島探鳥です。以前から楽しみにしていましたが、不都合や体調不良で延び延びにしていました。

前日の樺島探鳥会の疲れで爆睡し、早朝3時半の目ざましで飛び起きました。

新鳥栖駅駐車場に5時半集合、9名が合流し、高速道で3時間の予定が30分も早く萩港に到着しました。加藤さんの丁寧で安全運転のおかげです。

鈴木さん(北九州)、脇田さん(広島)、川畑夫妻さん(神戸)と合流し、9時過ぎの高速船「おにようず」で見島・本村港行に乗船し、鏡の様な海面を1時間20分の船旅です。

デッキに上り海を見渡したが海鳥の姿は確認出来ず。

北朝鮮に近くなりました。ミサイルが飛んで来ないかなあ～??

見島に到着。島旅、探鳥の始まりです。天気はますますでBW必需品は持ち、他の荷物は民宿「北国屋」のおかみさんへ預けて探鳥行軍へいざ出発!

車はありません、すべてが自分の足で歩くしかありません。でもみなさんの顔つきはにこやかにしております。

夏は海水浴で賑わう港側の砂浜で「橋さん、加さん、徳さん」たちが高性能カメラで鳥を探しております。すぐシギ類を確認、みんなも慌てて双眼鏡を向ける。

周りには5～6名のバーダーも見えます。連休の泊り組でしょうか?

丘畑や田植えが済んだ田んぼへ。連日珍鳥出現で多くの“鳥マニア”(失礼!)を魅了した所も先客あり。ウシガエルの大歓迎を受け、鳥の鳴き声は少なく、姿も現さない。

スコープが早いか、カメラが早いか目を皿のようにして鳥を探す。その姿を後ろから見るのもまた面白いよ!

田畑では「ツメナガか? シベリアか?」セキレイの同定に論議詮議のバトルあり。

電線にはコムドリ5～6羽がバーダーを歓迎しおしゃべり、羽ばたいている。

上空にはトビの集団、ミサゴとカラスのたわむれを見せつけている。

丘の林を越え微かな鳥影を追って双眼鏡で凝視する。種類は確認できない、

もどかしい時間が何十分も重なっていく。とうとうしびれを切らし立ち去る。

民宿では他のバーダーとの鳥情報の交換や鳥談義で酔いしれていた。

万歩計は17,000歩超をカウントしていた。

2日目は5時出発。朝食前に田畑を一巡りした。今日は島の北端の灯台岬“長尾の鼻”

まで珍鳥探しの汗だくの心臓破りの行軍です。

見島牛の放牧地も鳥影は無し。海上にも海鳥は飛翔していない。

過去 10 数回来ておられるSさんは、以前は珍鳥のオンパレードであったが、ここ数年は鳥影が少なくなってしまったそうです。温暖化？ 生息環境の変化？ それとも耕作放棄地の拡大？ でしょうか。人類に責任があるのでしょうか？

“長尾の鼻”で日本海域をみれば黄砂で薄いベールがかかっていた。

昼食後、島内最高地で、空自基地のある大峠へ上りの行軍です。

ブッポウソウやヤマショウビンの“ネタ”を頼りに黙々と歩くほかありません。

ここも鳥影は見えぬ。基地周辺は佐賀市の松尾建設が元請で工事があった。北朝鮮ミサイルへの防備でしょうか？？ ここでドラミングを聞き、みんなが驚くが確認出来ず。下りは少し楽でした。途中で野生のさくらんぼの美味しかったこと。

万歩計は 29,000 歩を超えていた。



エソビタキ



ノジコ



ムギマキ

3日目も5時出発、田畑を一巡りするが鳥の姿は少ない。今日は宿の軽自動車が空いていたので車で行ける。脚はパンパンです、救いの車に見えた。

軽自に5人乗車で上り坂、探鳥地に着いた時はボンネットから薄い煙が出た。

ここではやや珍しい2種類がみられた。下りは徒歩です、腹へらしの為ですか？

宇津港にいたウミネコは3日間とも同じ位置で動かない。羽根の色もくすんでいてご老体かな？ みんなは横目に見ながら通り過ぎた。最終日はいなかった。

宇津漁港定期船のりばでは“ひじき”“わかめ”を天日に干されていた。

故松方弘樹氏が釣り上げた 325kg の巨大まぐろの大パネルあり。島内最大と表示あった。昼食後は宿でゆっくり休んで帰路の鋭気を蓄えた。

14時40分の萩港行に乗船した。港を出たら海は荒れている。“おによろず”も木の葉の様に揺れ、鳥見の状況ではない。船酔い止め薬も効き目なし。1人がダウンされた。

合流の方々と再会を誓い別れた。途中、萩名物のみかん菓子店に寄り、みかんづくしのお土産を買い、佐賀への帰路につく。

高速道は連休の渋滞で、安全運転で走り無事に新鳥栖駅に着きました。サガン鳥栖は勝利し、周辺道路はサガンピンクで

いっぱいだった。万歩計は 15,000 歩弱でした。

加藤さん運転お疲れ様でした。宮原さん、案内役ありがとうございました。



(※写真はすべて橋本泰博さん提供)



● 「対馬探鳥記」・・・佐田 秀文さん（福岡県前原市）

4/27、対馬グリーン・ブルーツーリズム協会の「渡りの十字路口 バードウォッチング」に参加しました。2泊3日でガイド付き・民泊（実際はペンション）体験でした。1日目は昼に厳原到着。ツシマヤマネコ（現在70~100匹）・対州馬（現在41頭）と史跡を巡り志多留に宿泊。2日目に終日バードウォッチング。3日目は観光をしながら厳原到着。13時のジェットフォイルで博多港へ。

今回目的のノジコは約200羽が来ていたそうです。ガイドは対馬野鳥の会のメンバーで、情報連絡が素晴らしく効率よく野鳥が見られました。ヤマショウビンは5月に入ってからだそうですが、来年は挑戦しようと思います。野鳥の宝庫でした。

対馬グリーン・ブルーツーリズム協会の連絡先 ☎0920-85-1756。

ホームページは <http://tsushima-gbt.com/>

【参加者】佐田秀文・映子（他に福岡の男性2人）

【観察された野鳥】アマサギ・チュウサギ・ダイサギ・アオサギ・オシドリ・マガモ・ヒドリガモ・カルガモ・ミサゴ・トビ・コジュケイ・コウライキジ・タカブシギ・クサシギ・ウミネコ・ツツドリ・カワセミ・ツバメ・ハクセキレイ・ヨーロッパビンズイ・ムネアカタヒバリ・タヒバリ・ヒヨドリ・ノビタキ・ウグイス・コサメビタキ・センダイムシクイ・エゾムシクイ・キビタキ・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・キマユホオジロ・ノジコ・アオジ・アトリ・カワラヒワ・スズメ・カケス・ハシブトカラス・ハシボソカラス（42種類）



ヨーロッパビンズイ
写真提供：横田廣隆さん
（福岡県直方市）

● 「フラグのついたシギ」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

4月29日 東よか干潟で観察されたフラグ付きのシギを山階鳥類研究所に報告しました。山階鳥類研究所からは次のような返答が届きました。

- ①オレンジ CCY のオオソリハシシギ・・・2014年2月3日にオーストラリア・ヴィクトリア州の Rhyll, Phillip Island (38deg 28min S, 145deg 19min E) で放鳥され、放鳥時2歳以上、足環番号は07370232でした。
- ②グリーン ASD-刻字のオオソリハシシギ・・・2014年に大授搦に来ています。その時に問い合わせた返信では、この個体は2013年2月3日にクイーンズランド州の Toorbul (27deg 02min S, 153deg 06min E) で放鳥され、放鳥時2歳以上、足環番号は07367225でした。
- ③黒/黄フラッグのトウネン・・・2014年以降にロシアのカムチャッカ半島中西部海岸で放鳥されたもので、20170079のIDで登録いたしました。

オオソリハシシギはオーストラリアからの渡りで休息しているのですね。
 小さなトウネンもカムチャッカ半島まで往復しています。 東よか干潟は過酷な渡りを
 生涯続けるシギ、チドリたちの大切な休息場所です。 シギ・チドリへのフラッグ装着で
 鳥たちの渡り経路、渡りルートの利用頻度を調べるのに役立つているそうです。



オオソリハシシギ (CCY)



オオソリハシシギ (ASD)



トウネン



皆さんからの野鳥&生きもの情報



■八木 ひとみさん (佐賀市)

4/4 【福富町】コチドリ、セイタカシギ、クサシギ、シマアジ、タヒバリ

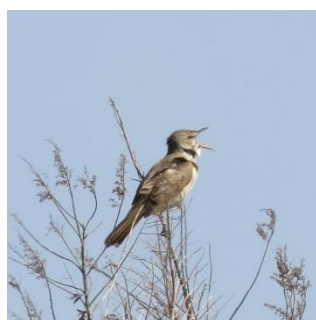
4/9 【天山登山道】マヒワ若鳥が囀っていました。

4/29,30【東よか干潟】ハヤブサ

5/6 【福富町】カブシギ、セイタカシギ、ウズラシギ、オオヨシキリ、タシギ、クサシギ、バンなど



コチドリ



オオヨシキリ



セイタカシギ



ウズラシギ

■馬場 順一さん (鳥栖市)

5/4 【鳥栖市城山】キビタキ♂1 ここが北限といわれるサクラツツジを見るために
 城山に登山。途中できれいなさえずりが聞こえてきました。

双眼鏡を持っていなかったので、肉眼で必死に探しました。(^^♪

5/18 【鳥栖市】アオバズク(声) 午前2時過ぎ、自宅アパートに居ると突然声が。
 慌てて窓を開け聞き耳を立てると、近くでは聞こえず、かなり遠くで繰り返し
 鳴いていました。30分ほどは鳴いているのを確認。その後1時間ほど
 たってもう一度聞こうとしましたが、聞こえませんでした。





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：6月4日(日)、7月2日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：6月6日(火)、7月4日(火) 10:00～ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：6月10日(土)、7月8日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：6月11日(日)、7月9日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：6月18日(日)、7月16日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：6月25日(日)、7月23日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：6月4日(日) 10:00～ (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：10:00 小郡市干潟の城山公園駐車場

担当：伊東正幸さん 携帯：090-2085-0029

日時：6月11日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：6月18日(日) 9:00～12:00 溪流の鳥・矢部川 (企画探鳥会)

場所：八女市・矢部川 / 集合：9:00 八女市黒木ふじの里

担当：別府さん TEL：070-5410-4992

日時：6月25日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・延命公園 / 集合：9:00 延命公園の体育館西側広場

担当：永江和彦さん TEL：080-2793-0553

MINI BIRD GALLERY

(撮影：八木 ひとみさん)



マヒワ



キョウジョシギ・ダイゼン



タカブシギ

～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会などのご案内 (2017年6月～7月)

①6月4日(日)

石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 8:00

佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」

[担当] 青柳 良子さん(小城市)

[携帯] 090-1659-7353

※観察会終了後は 10:00 から支部総会を開催します。

①6月4日 佐賀市・石井樋公園



②6月10日(土)～11日(日)

鳥取県八頭町「八東ふるりの森」 野鳥観察会(鳥取県)

④7月23日(祝)

雲仙あざみ谷野鳥観察会(長崎県)

※7ページに案内を掲載しています。

参加希望者は直接担当者に申し込んでください。

定員10名ほどなので、お早めに!

③6月18日 鳥栖市・御手洗の滝



③6月18日(日)

御手洗の滝観察会(鳥栖市)

[時間&場所] 8:00

鳥栖市立石町の石谷山登山口駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市)

[携帯] 090-2507-7085

※溪流沿いの道を歩きます。 オオルリやカッコウの仲間、アカハラ、キビタキなど夏鳥たちの声を楽しみましょう。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～

公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸

事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)

〒849-1315 鹿島市三河内 2974-1

郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」